佐世保市立潮見小学校（スローガン：夢をはぐくむ潮見っ子）

潮見が丘 40号

【最終号】

令和５年３月２４日

校長　惣田　正宏

ホームページ

令和４年度が終わります！　修了式と離任式がありました。

３月２４日、令和４年度が終わります。子供たちにとって、どんな１年間だったのでしょう。コロナ禍３年目で、慣れてきたとはいえ、相変わらずいろいろと活動に制限がかかる１年間でした。それでも「可哀想」とか「何もできなかった」というのは、ちょっと違うのではないかと思っています。新型コロナウイルスの影響があろうがなかろうが、学校の主役は子供たちで、制約を受ける中でも、それらを受け止め、チャレンジし、成長する姿を見せてくれました。子供たちが持ち帰る「あゆみ」で、その成長を確かめていただければ幸いです。

成長と言えば、一昨日「WBC２０２３」で、侍ジャパンが世界一になりました。春分の日にあったメキシコとの準決勝、そして、アメリカとの決勝。久しぶりにテレビにかじりつき、長い野球（ベースボール）の試合を観戦された方も多いのではないでしょうか。私自身、その後の関連ニュースも何度も見て感動の余韻に浸っていました。選手は大舞台でも臆することなく自身の持てる力を発揮していました。そんな日本代表を率いた栗山英樹監督の話が昨日の新聞に載っていました。世界一になって、「選手たちが本当にうれしそうな顔をしていたので、それがすごくうれしかった。」と。前日準決勝のサヨナラの場面では、一瞬送りバントを考えた村上に対して「最後はおまえで勝つのだ。」と鼓舞しています。結果が全ての世界です。この数カ月は重圧の日々だったと思います。しかし、結果がどうであれ、その想いは選手たちに確実に伝わっていたのだろうと思います。同じようにはなれなくても、次世代を育てる私たち教師や指導者、我が子を育てる上でも、かくありたいものだと思いました。

この日の最後は離任式。２２日にプリントでもお知らせしましたが、７名の方が潮見小を去られます。出会いがあれば必ず別れがあります。卒業による巣立ち、離任式における先生方とのお別れ、必然と分かっていながら、いざその時になると寂しいものです。子供たちがいるから学校があり、学校があるから教師（職員）が必要となってきます。待っている子供たちがいる…。その出会いを大切にして新天地で頑張ってほしいものです。



令和４年度最後の日元気に登校！

【一年かんをふりかえって】１年　〇〇　〇〇　さん

わたしは、一年生になって、できるようになってうれしかったことがありました。

一つ目は、なわとびです。あやとびができなかったので、まい日れんしゅうしました。あるとき、１回できました。「あっ！」となって、もう１回したら、またできました。できるようになって、とてもうれしかったです。こんどは、こうさとびにチャレンジしたいです。

二つ目は、本のことです。としょしつで二百さつかりました。わたしは、本がすきで よみおわると つぎの日には すぐにかりにいきました。ともだちが、「ゆあちゃん、２００さつすごいね。」といってくれました。うれしかったです。

三つ目は、にが手なものをたべたことです。わたしは、トマトがきらいです。きゅうしょくでトマトが出たとき、はんぶんだけたべられました。さかい先生が、「はんぶんでいいよ。」といってくれたけど、くやしかったので、のこりをパクッとのみこみました。ともだちもおうえんしてくれました。きゅうしょくの先生も「トマトたべたの？すごいね。」といってくれました。ぜんぶたべられてよかったとおもいました。二年生になったら、さんすうで九九をおぼえるのをがんばりたいです。



【一年間でがんばったこと　六年生でがんばりたいこと】

５年　〇〇　〇〇　さん

私が一年間でがんばったこと、六年生でがんばりたいことがあります。

一つ目は、最後の授業さんかんです。授業さんかんでは、それぞれのグループで発表会をしました。私達のグループで発表したのは動物に関しての発表をしました。発表をするのに、スライド作りや台本、その他の準備をしました。本番の発表では、とてもきんちょうしました。でも発表は成功して、達成感を感じ、自信がつきました。

次は、六年生でがんばりたいことです。私が、六年生でがんばりたいことは、かきゅう生を引っぱっていける六年生になることです。五年間いっしょにいた仲間と最高学年になり、五年生全員で、かきゅう生を引っぱり、リーダー的なそん在になりたいです。うまくいかないこともあるかもしれません。そのときはみんなで協力してがんばっていきたいです。



